

“水のインパクトカンパニー”を目指して

中期経営計画2025始動―「壁を超える」「地域に根差す」「足元を固める」

座談会～日水コンの成長戦略を語る

- 間山 一典 代表取締役社長
- 野村 恭悟 取締役常務執行役員経営企画本部長
- 戸部 達也 経営企画本部シンガポール支店長
- 和泉 充剛 事業統括本部事業戦略部シニアエンジニア
- 西澤ちひろ 経営企画本部経営企画部主任



日水コンは、「水のインパクトカンパニー」を基本方針とする5年間の中期経営計画を策定した。「壁を超える」「地域に根差す」「足元を固める」を戦略に定め、世界で独自の路線を切り開く新しい建設コンサルタントへの変貌を目指す。中計の始動にあたり、間山一典社長と、中期経営計画を今まさに推し進める事業に関わっているメンバーに、同社の成長戦略について語ってもらった。

既成概念取り払い新しいコンサルタント像の確立へ

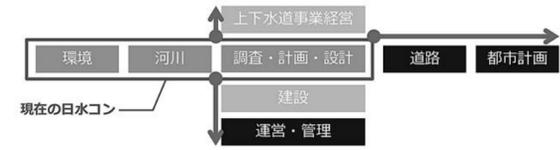


間山氏

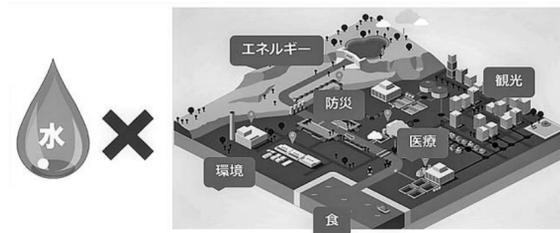
現在、国内では人口減少下での水インフラ事業の持続、海外では途上国の人口増加に伴う水不足や食糧不足といった、多様な問題が顕在化しています。コロナ禍の影響で社会変化はさらに加速していきま

新たな事業の芽を ぐんぐん出す

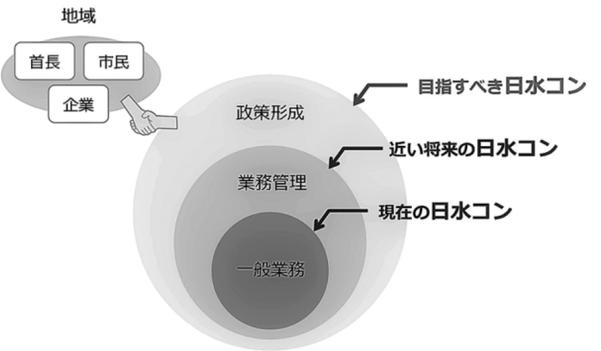
間山 現在、国内では人口減少下での水インフラ事業の持続、海外では途上国の人口増加に伴う水不足や食糧不足といった、多様な問題が顕在化しています。コロナ禍の影響で社会変化はさらに加速していきま



事業領域の拡大イメージ



“地域に根差す”戦略の実現イメージ



西澤氏

間山 「地域に根差す」を考えたとき、地域に埋もれている問題を掘り起こしたり人材を見つたりするには、別途仕掛けが必要だと考え、昨年7月、日水コン水インフラ財団を設立しました。水インフラにかかわる研究や技術開発を行っている高専・地方大学の先生やベンチャー企業などを支援します。新しい事業の芽を見つけたら、インキュベーションの対象になりそうだったら、当社のインフラマネジメント本部が取り込み、ビジネス展開することも思い描いています。

野村 「インパクトカンパニー」は「社会問題の解決を通じて経済的成長を実現する企業」と定義されていますが、世界中をびっくりさせるような会社にしようという思いも込められています。この中計を実現するため「壁を超える」「地域に根差す」「足元を固める」の三つの戦略を掲げました。壁を超えるには、既成概念を取り払い、「官民の壁」「業務領域の壁」「事業領域の壁」「国内外の壁」の四つの壁を超える必要があります。これらの壁を超えた先には、これまでと違う、目指すべきコンサルタント像があるはずだと考えました。

野村 「壁を超える」には、既成概念を取り払い、「官民の壁」「業務領域の壁」「事業領域の壁」「国内外の壁」の四つの壁を超える必要があります。これらの壁を超えた先には、これまでと違う、目指すべきコンサルタント像があるはずだと考えました。

戸部 現行の管理本部を高機能化したコーポレート本部が足元を固める戦略を推進していきます。



戸部氏

戸部 「壁を超える」を実践しているのがシンガポール支店です。2018年12月に世界の情報収集拠点として、水事業を管轄する政府機関 PUB(シンガポール公営事業)が運営する Singapore Water Exchange を開設し、上下水道関連の案件を注しています。PUBの要求レベルは非常に高く競争も厳しですが、順調に受注を重ねており、ODAから非ODAへと事業の壁を超えることができたこと認識しています。海外案件は通常、海外事業部が担っていますが、シンガポール支店では入札段階での提案書の作成や実施段階のプロジェクト参画など国内事業部に協力してもらっています。案件に

秋田県にかほ市で未来型水循環都市モデル構築 和泉 事業戦略部は、新しい公民連携のあり方を模索しながら、従来の建設コンサルタントの枠にとらわれないPPP案件の創出に注力しています。その一つが、「地域に根差す」をテーマにした秋田県にかほ市での「未来型水循環都市」に

西澤 人事担当として「足元を固める」というミッションについて、人材の育成、活用に主眼を置いて考えています。忙しい中でも社員が成長実感できるように、自分がチャレンジしたい業務を積極的に任せていくことで、社内でスキルを磨き、自分自身で責任を担えるようになることを目指しています。

西澤 私でも思っています。自分なりにアレンジしてみようとか改善してみようとか、確かに時間はかかりますが、やり遂げた後は達成感があるはずですよ。

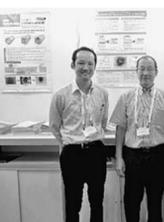
間山 目一杯力を付けたという若者は、法令の許す範囲で動いてもらっていいと思います。社会のルールを守った上で、メリハリを付けて仕事を技術を進めたいのがこれからの働き方です。



野村氏



シンガポール支店が入居するSingapore Water Exchange



シンガポール国際水週間 (SIWW 2018) での出展の様子



和泉氏



2019年2月3日ににかほ市で行われた「若者が“ミス”から描く未来討論会」の様子

健康投資の面では、ワークライフバランス推進協議会の設置、保健師によるメンタルヘルスケアなど社員の健康管理も重視し、昨年は健康経営優良法人ホワイト500に認定さ

間山 成業社を迎え、水インフラはあって当たり前、浄水場や処理場を更新したといたって重要められず、失敗したら怒られる時代で、仕事の達成感や誇りが感じられなくなっています。だからもう一つの懸念があります。この中期経営計画の期間は「人と組織が成長するステージ」と位置付けています。ジャンプするときはやがて成長に向けて力を蓄える時期です。本日の座談会に参加してくれた3人を初め、中堅社員には、ぜひワークライフバランスを推進する仕事をつくり出し、やる気最大限にできる社風を未来に向けて築いていくものと期待しています。



人と組織が成長する5年間に

潤いある未来へ 株式会社日水コン http://www.nissuicon.co.jp/